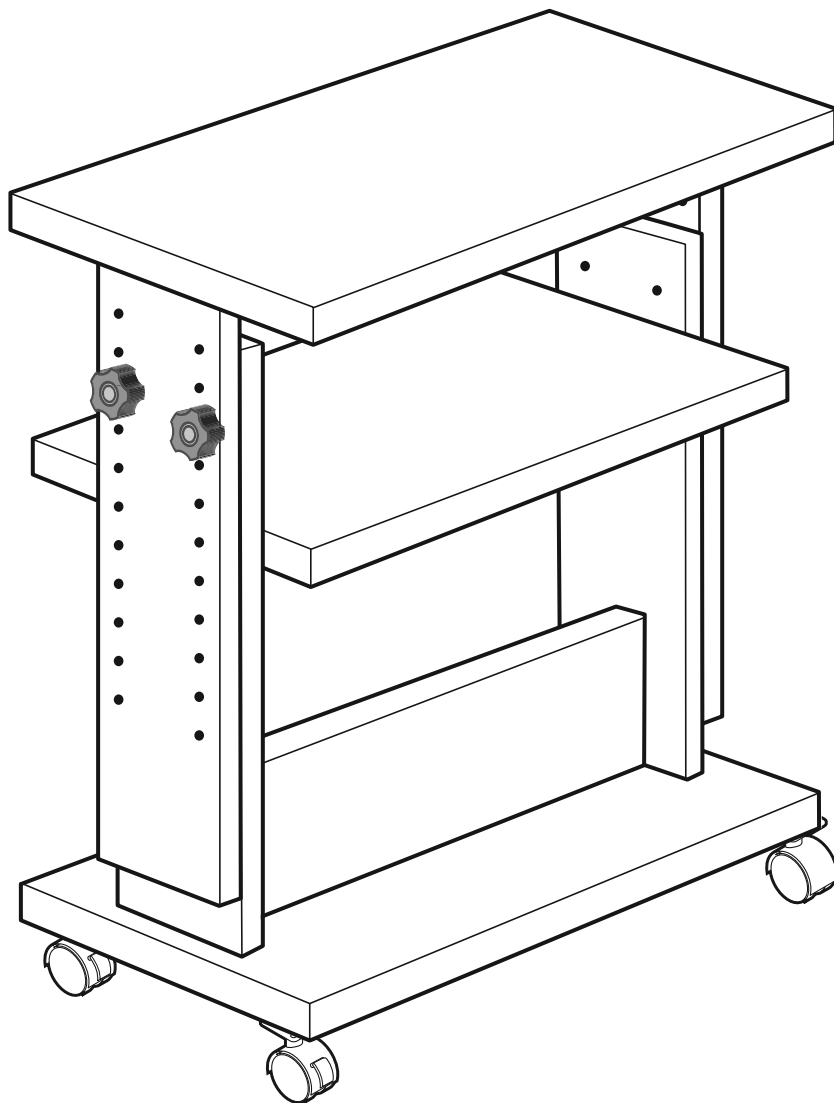


プロジェクターカート

[PJC-Cシリーズ]

組立説明書

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使いいただくために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、いつでも読むことのできる場所に大切に保管してください。



株式会社 **シアターハウス**

〒910-0124 福井県福井市天池町 32-6

TEL : 0776-56-0325 / FAX : 0776-56-2647

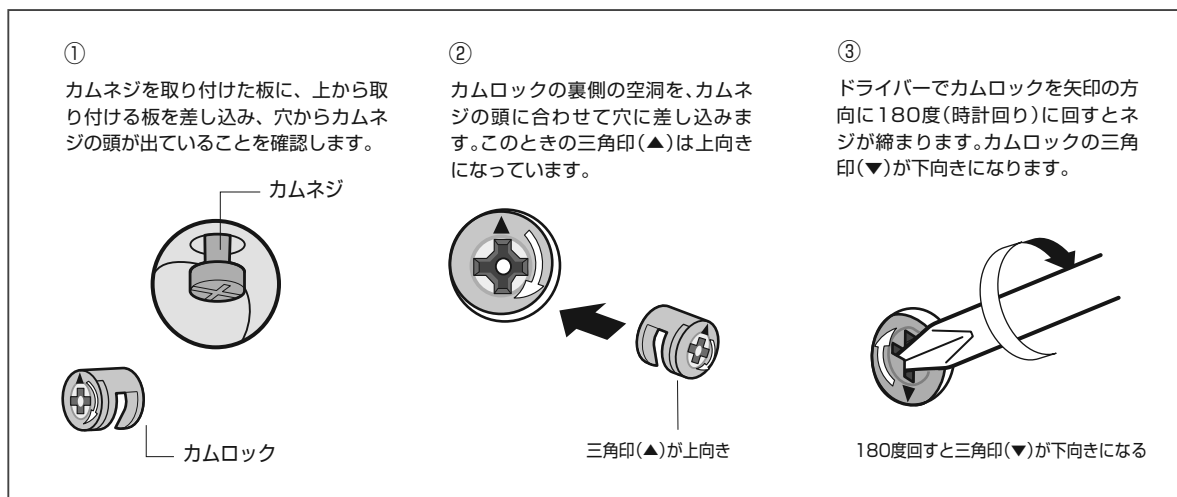
製品を組み立てる前に

- 組み立て場所(十分広い平らな場所)を確保し、手順に従って組み立ててください。
- 床面保護のため、厚手の布・梱包用段ボールなどを敷いて組み立てを行ってください。
- 組み立てる前にネジなどの部品の確認をしてください。

組み立てのポイント

カムロックネジの取り付け方

カムロックネジとは、カムネジとカムロックが一緒になった部品で、この2つの部品を噛み合わせて固定します。カムロックの裏側の空洞(受け)部分に、カムネジの頭の部分(ちょうど首の部分)に引っかけて、カムロックを回すことで、受けの爪がカムネジの頭の部分を引っ張って締める仕組みです。



◆ カムロックの解除 ◆

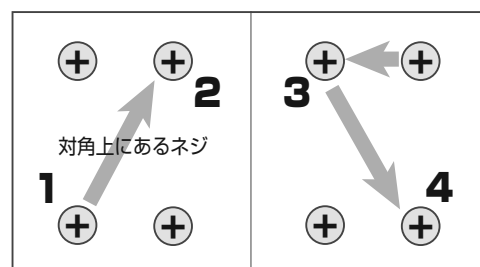
板の向きを間違えて取り付けしてしまった場合など、板の固定を解除したい場合には、カムロックを反時計回りに180度回転させることでロックが解除されるので、カムロック本体をネジ穴から取り出さなくても板を取り外すことができます。

ネジの締め方のポイント

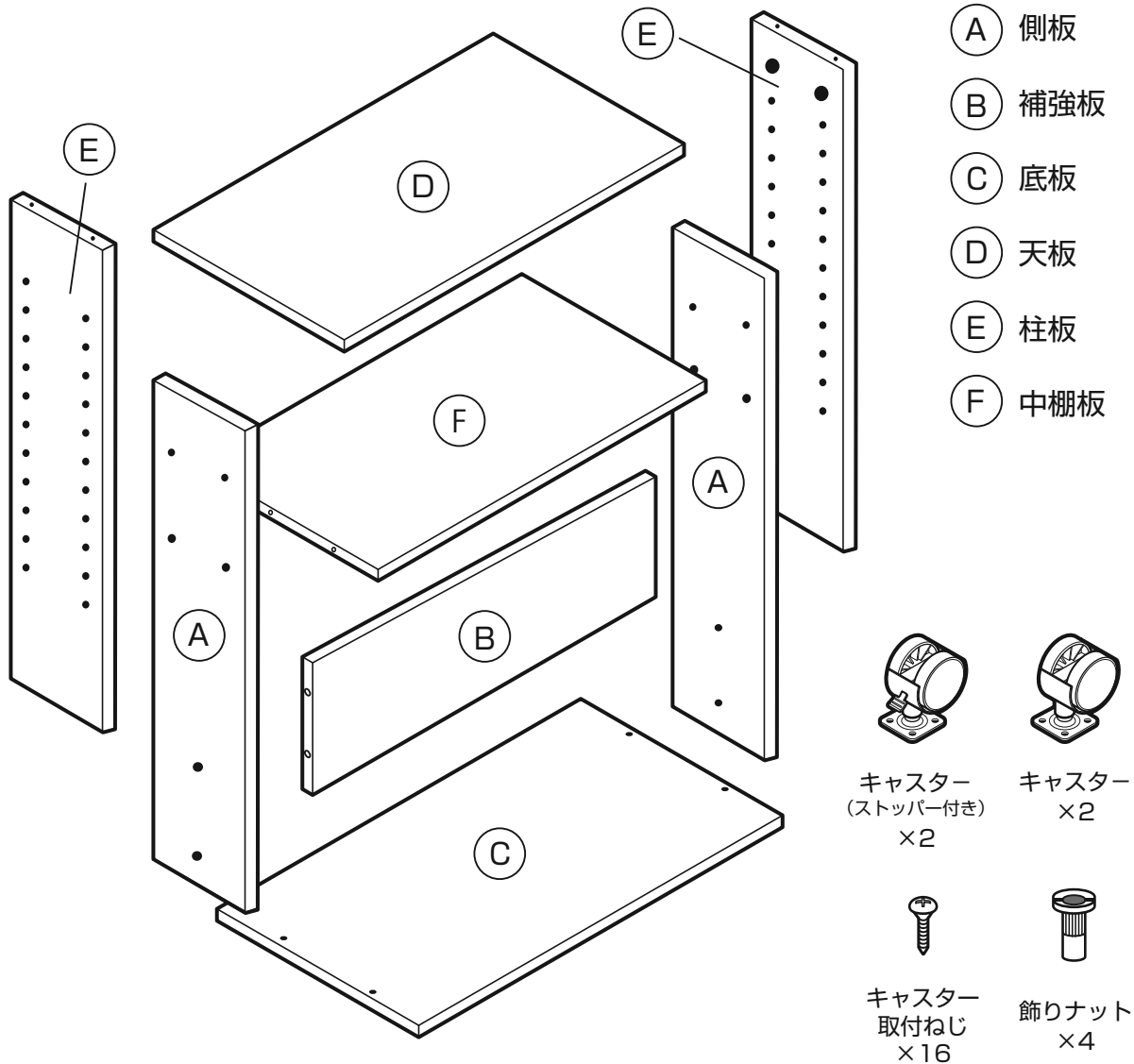
ネジの大きさにあったドライバーを使用し、最初からしっかり締めずに、ぐらつかない程度の8割くらいまで締めておきます。組み立てが完了したら、すべてのネジをしっかり締めます。最初からしっかりとネジを締めると、他のネジ穴と合わなくなってしまうたり、完成時に家具が歪んでしまう場合があります。

キャスターのネジの締め方

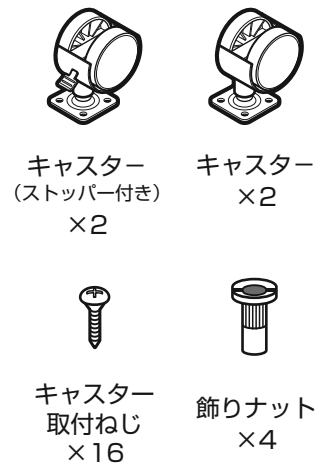
最初のネジはお好きな位置から取り付け、その対角の位置にあるネジを2番目に付けてください。次に残りのネジを取り付けてください。



組み立て部品



- (A) 側板
- (B) 補強板
- (C) 底板
- (D) 天板
- (E) 柱板
- (F) 中棚板



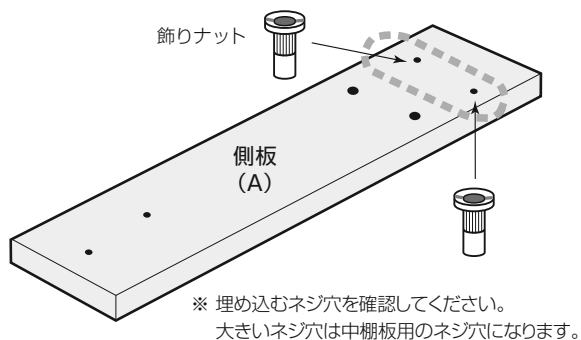
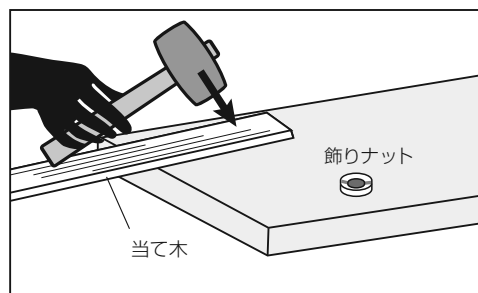
ご用意いただくもの



組み立て手順

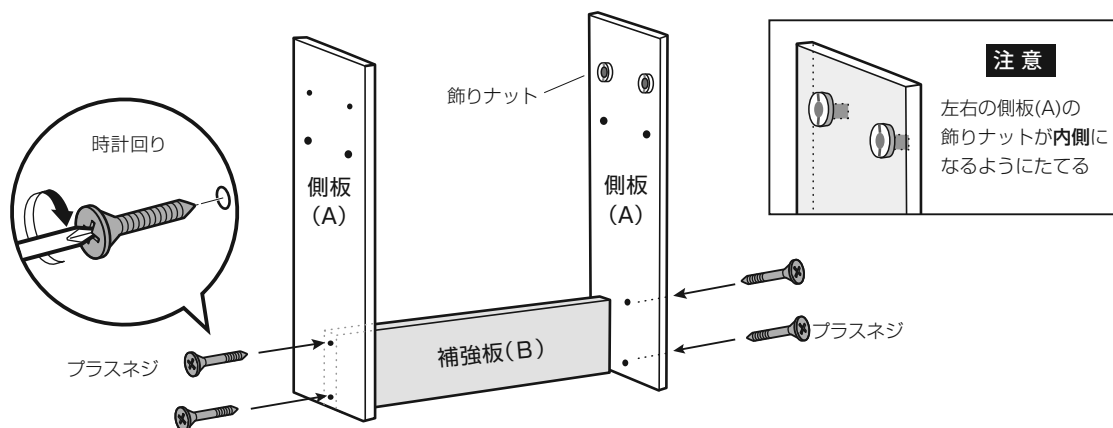
① 左右の側板(A)に飾りナットを取り付けます。

側板(A)の上部にある横並びの小さい方のネジ穴に、飾りナットを埋め込みます。
飾りナットの上にあて布・当て木などをあて、ソフトハンマーなどで傷がつかないように叩きます。



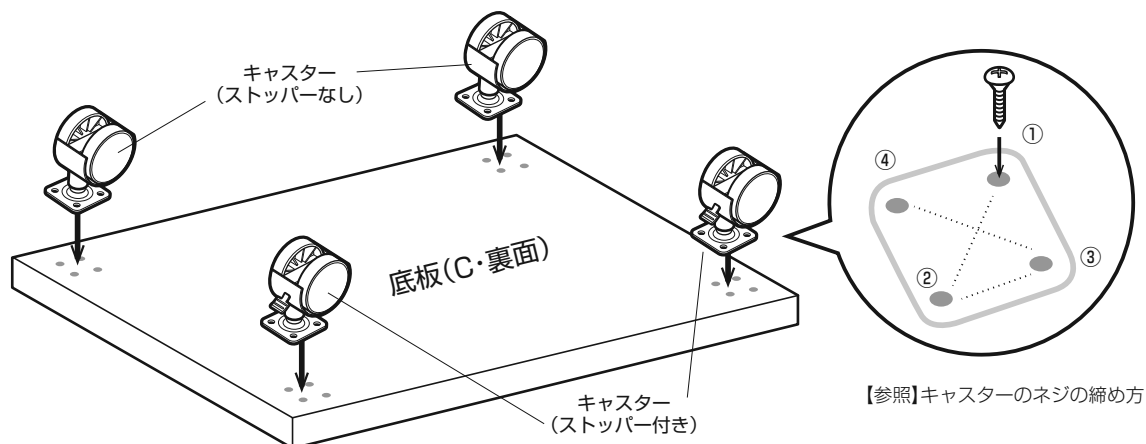
② 側板(A)に補強板(B)を取り付けます。

側板(A)を飾りナットが内側になるように立たせ、補強板(B)を垂直に合わせます。側板(A)の外側からプラスネジで締めます。反対側も同様に合わせ、外側から固定します。



③ 底板(C)にキャスターを取り付けます。

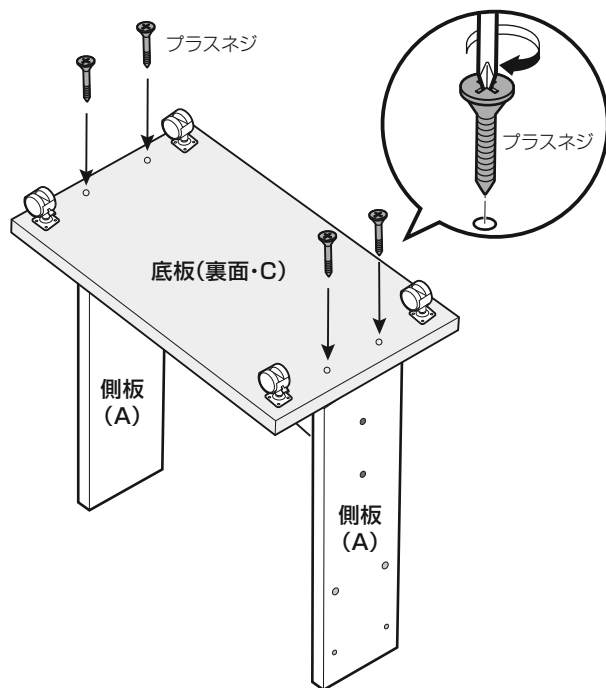
底板(C)を裏返し、穴のある位置にキャスターを取り付けます。1ページにある「キャスターのネジの締め方」を参考に、対角上の位置にあるネジから順番に行ってください。



組み立て手順

④ 底板(C)に側板(A)を取り付けます。

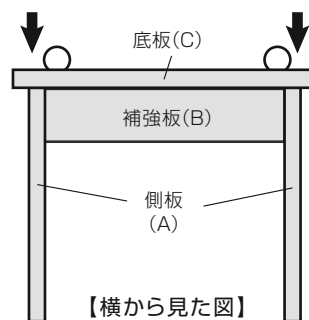
手順②で組み立てた側板(A)と補強板(B)を上下逆に立て、その上から底板(C)の裏面が上になるように合わせます。ネジ穴が合っていることを確認し、上からプラスネジ4本で固定します。



注意

側板(A)と補強板(B)、底板(C)が上下逆のため、不安定な状態になっています。組立ての際は倒れないよう注意して行ってください。

底板(C)の裏面からネジで固定する

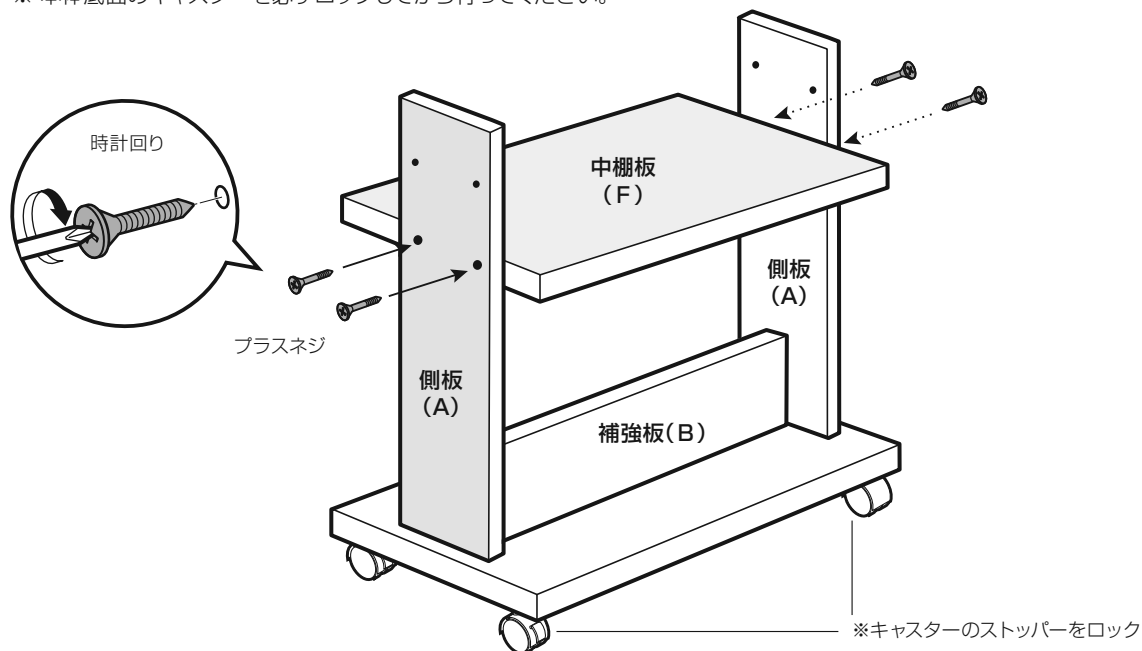


⑤ 中棚板(F)を取り付けます。

手順④で組み立てた本体を起し、中棚板(F)を合わせます。ネジ穴が合っていることを確認し、側板(A)の外側からプラスネジ4本で固定します。

※ ネジ穴の合う位置で中棚板(E)をしっかり押さえてください。不安定な場合は2人で取り付け作業を行ってください。

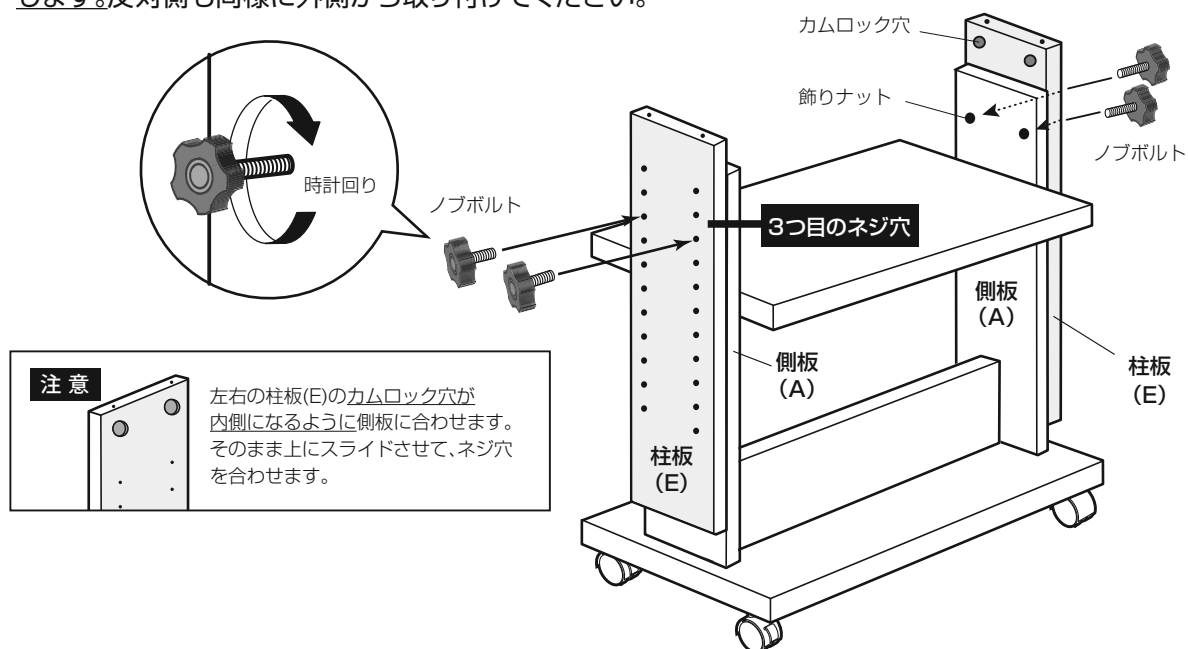
※ 本体底面のキャスターを必ずロックしてから行ってください。



組み立て手順

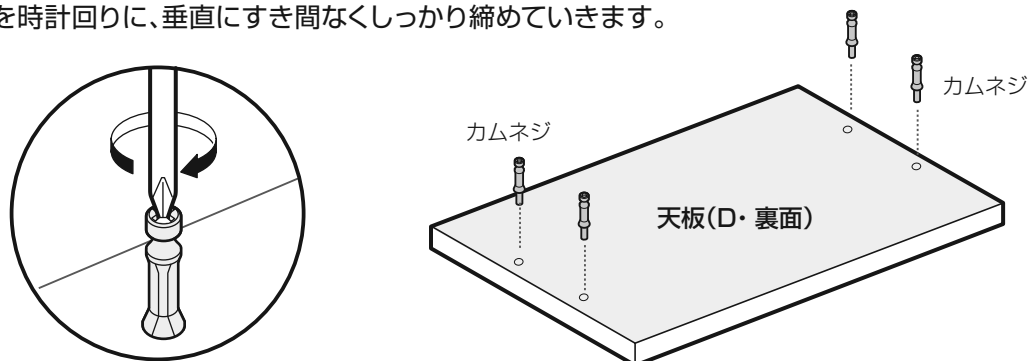
⑥ 側板(A)の外側に柱板(E)を取り付けます。

柱板(E)のカムロック穴が内側になるように側板(A)に合わせ、柱板(E)を7~8cm程度上にずらします。ネジ穴の上から3つ目の穴と飾りナットの穴を合わせて外側からノブボルトで固定します。反対側も同様に外側から取り付けてください。



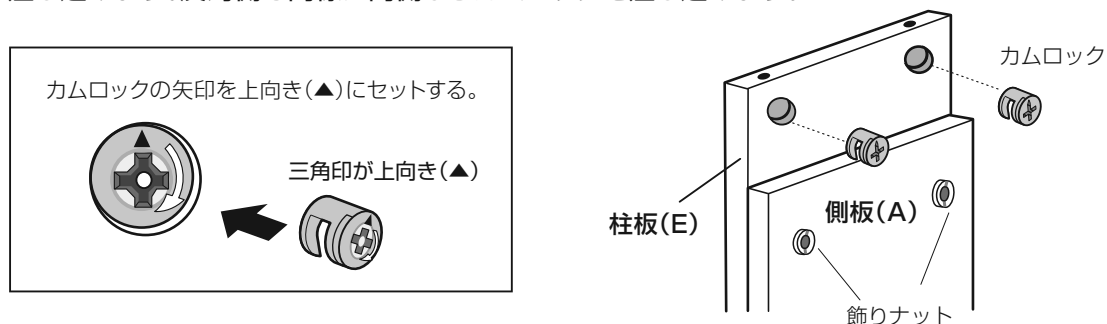
⑦ 天板(D)にカムネジを取り付けます。

天板(D)の裏面にカムネジ4本を取り付けます。カムネジを時計回りに、垂直にすき間なくしっかり締めていきます。



⑧ 手順⑥で固定した柱板(E)の内側からカムロックをセットします。

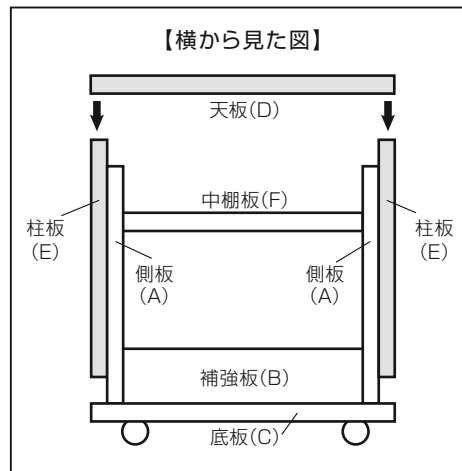
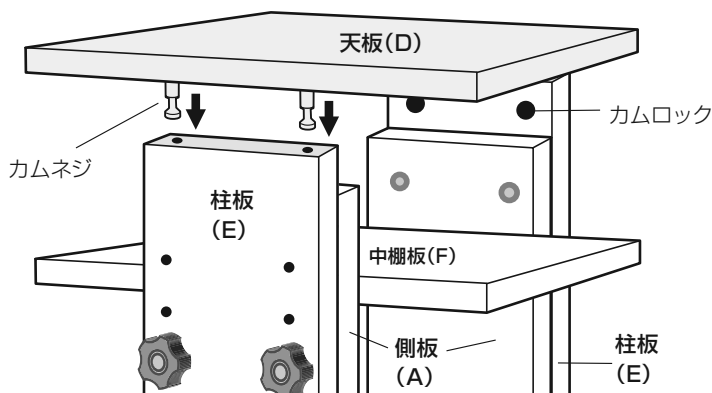
柱板(E)の内側から見えるカムロック用の穴に、カムロックの三角印(▲)が上向きになるように差し込みます。反対側も同様に内側からカムロックを差し込みます。



組み立て手順

⑨ 天板(D)のカムネジ4本と左右の柱板(E)のネジ穴を合わせます。

天板(D)と左右の柱板(E)が垂直になるように、しっかり合わせてください。

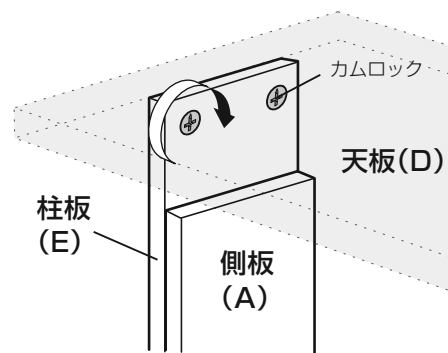


⑩ 天板(E)の下からカムロックを締めます。

手順⑧でセットしたカムロックをドライバーで時計回りに180度回転させ、ネジを締めます。

反対側も同様に内側からカムロックを時計回りに180度回転させ締めます。

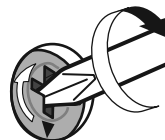
※電動ドライバーは使用しないでください。必要以上に締めすぎる可能性があります。



注意



三角印が上向き(▲)
カムロックの矢印が
上向き(▲)になっている。



三角印が下向き(▼)
カムロックを矢印の方向に180度
回転させます。(時計回り)

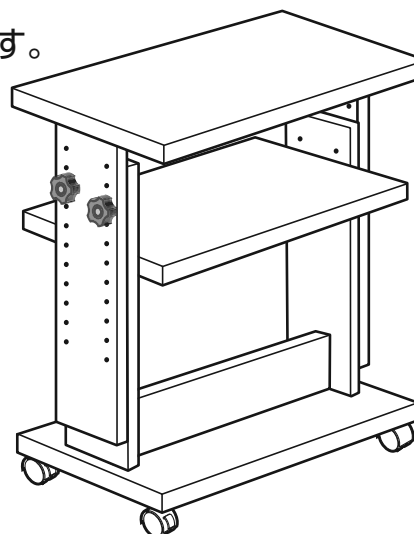
カムロックの矢印が下向き(▼)になったらそれ以上は回さないでください。無理に回すと破損の原因となります。

⑪ 柱板(E)のカムロックにシールを貼って完成です。

柱板の内側から見えるカムロックに、上からシール(4枚)を貼って完成です。



完成後に高さを変更する場合

- ・必ず2人以上で行ってください。
- ・製品に収納してある物・天板に置いてある機器等を取り除き、左右のノブボルトを外します。
- ・再度調整した高さに柱板(E)を合わせノブボルトで締めます。
- ・左右の柱板(E)が同じ高さになるように取り付けてください。



ご使用時の注意点

安全上に関する重要な内容ですのでよくお読みの上、必ずお守りください。
誤った使用をした場合、事故により使用者が重傷を負う危険性があるものを「警告」
傷害を受けたり物的損害の発生が想定されるものを「注意」として明記しております。

 警告	<ul style="list-style-type: none">・製品にのったり、座ったり、用途以外の使用はしないでください。・天板・中棚板の上に集中的に荷重をかけないでください。・ストーブなど火のそばで使用しないでください。・製品の表面に粘着テープなどを貼らないでください。はがす際に表面材がはがれる可能性があります。・製品の表面を水気の多い雑巾でふいたり、クレンザー、アルコール、ベンジンなどを使用しないでください。
 注意	<p>組み立て・設置</p> <ul style="list-style-type: none">・組み立て、及び設置の際は必ず安定した平らな場所で行ってください。・床や壁などを傷付けないように、厚手の布や梱包の段ボールなどを敷いて行ってください。・キャスター取り付け時や板を組み合わせる際に手や指を挟まないように注意してください。・製品は屋内で使用し、直射日光や暖房機の風が直接あたらない場所に置いてください。・家電製品(プロジェクターやDVD機器など)を収納する際は十分なすき間をあけてください。・冷暖房の風が直接あたる場所や湿気・水気の多い場所は避け、通気性の良い場所に置いてください。 <p>使用</p> <ul style="list-style-type: none">・移動の際は収納しているものを取り除き、2人以上で本体の底をしっかりと持ってゆっくり移動してください。・組立後の製品の高さの調整は、2人以上で行ってください。・ネジが緩んでいないか定期的に点検し、緩んでいる場合はしっかりと締めなおしてください。

お手入れ

- ・柔らかい布に薄めた台所用中性洗剤を浸し、固く絞って汚れを落とします。
そのあと必ず、乾いた布で水分をよくふきとってください。

取扱説明書の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、購入から1年間の間、無償修理とさせていただきます。

保証の免責事項

保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。

- (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (2) 当社の取扱説明書、カタログ等に記載されている使用条件環境の範囲を超えた使用による故障及び損傷
- (3) 当社指定以外の他社商品との特殊な組み合わせ施工及び使用による故障及び不具合
- (4) 施工上の不備に起因する故障及び不具合
- (5) お買い上げ後製品の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (6) 火災地震、水害落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障及び損傷
- (7) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
- (8) 法令で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
- (9) 日本国内以外でのご使用による故障及び損傷

修理を依頼される時

万が一故障が起きた場合には、お買い上げの販売店までお申し出ください。